



**吉野の魅力や発信策考える**  
鹿児島市吉野地区の歴史や世界遺産を未来へつなぐ方策を探るワークショップが20日、吉野公民館であった。地元中高生を主体に、地域の魅力やPRの仕方について意見交換した。

昨年、創設15周年を迎えた地域おこし団体「吉野兵六会」が主催。吉野、吉野東の両中学校と鹿児島東高校の生徒約20人が4班に分かれ、個々のお気に入り場所を紹介し合った。各班の発表では、寺山展望台や吉野公園の桜など写真映える場所を撮影会を開いては、「豊かな自然や神社を散策する名所巡りツアーもいい」といった意見が出た。

兵六会の永山恵子事務局長(68)は「コロナ禍で活動を自粛する中、若者の柔軟な発想を今後の活動に生かそうと企画した。吉野の魅力に改めて気付く機会になった」と話した。

(桑元伸)

吉野の魅力について話し合う中高生ら。20日、鹿児島市の吉野公民館